

非公用軍事郵便物から麻薬の摘発が急増 上半期分における過去最高の摘発件数

－令和6年上半期沖縄地区税関における関税法違反事件の取締り状況－

沖縄地区税関は、令和6年上半期に管内の空港や港湾等において、不正薬物等の密輸入その他関税法違反事件を取り締まった実績をまとめましたのでお知らせします。

1. 不正薬物事犯^{※1}

不正薬物全体の摘発件数は76件（前年比約3倍）、押収量^{※2,3}は約17,433.23g（同約4倍）と共に大幅に増加した。

このうち摘発件数は、非公用軍事郵便物等の国際郵便物から麻薬の摘発が急激に増えたことにより、上半期分について過去最高となった。また押収量は、八重瀬町海岸に漂着したコカイン約15kgを発見・押収したことにより大幅に増加した。

※1 覚醒剤、大麻、麻薬（ヘロイン、コカイン、MDMA等）、向精神薬及び指定薬物をいう ※2 錠剤型薬物を除く

※3 重量等未確定につき含まれないものがある。以下、個々の押収量についても同様。

【覚醒剤】

➤ 摘発件数は1件と増減無し、押収した覚醒剤は錠剤型のみ（同全増）。

【大麻】

➤ 摘発件数は6件（同2倍）、押収量9.71g（同約3.3倍）と共に増加した。

【麻薬】

- 摘発件数は61件（同約12.2倍）、押収量15,023.36g（同約2,678倍）と共に大幅に増加した。
- 麻薬のうち、「その他の麻薬」の摘発件数は58件（同約11.6倍）、押収量は409.56g（同約73倍）と共に大幅に増加した。
- また麻薬のうち、「非公用軍事郵便物」からの摘発件数は44件（前年同期2件、同22倍）と急増した。

【指定薬物】

➤ 摘発件数8件（同33%減）と減少し、押収量は2,400.16g（同約2.2倍）と増加した。

2. 銃砲等事犯

銃砲及び銃砲部品の摘発は無し。

➤ 前年同期と比較すると摘発件数、押収量ともに全減した。

3. 金地金事犯

➤ 金地金の摘発件数は1件（同67%減）、押収量は約15g（同99.8%減）と共に減少した。

※4 金地金には、金塊に加え一部加工された金製品も含む。



麻薬、覚醒剤、拳銃などの密輸情報は税関へ！

フリーダイヤル－シロイークロイ
税関密輸ダイヤル 0120-461-961

【問合せ先】 沖縄地区税関総務部広報広聴官 電話 098-996-5530

沖縄地区税関における社会悪物品の摘発実績

(資料1)

種 類		年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	(1～6月)	令和6年 (1～6月)	前年同期比
覚醒剤	件		1	—	—	2	1	1	100%
	g		15.94	—	—	2,989.20	2,989.20	—	全減
	錠		—	—	—	—	—	100	全増
大 麻	件		16	20	8	7	3	6	200%
	g		1,792.72	3,810.47	230.87	18.50	2.97	9.71	327%
	錠		—	—	—	—	—	—	—
大麻草	件		5	3	2	2	2	2	100%
	g		25.91	1,076.76	1.11	0.55	0.55	0.63	115%
大麻樹脂等	件		11	17	6	5	1	4	400%
	g		1,766.81	2,733.71	229.76	17.95	2.42	9.08	375%
麻 薬	件		4	5	3	19	5	61	1220%
	g		0.40	2,266.95	31.97	46,245.75	5.61	15,023.36	267796%
	錠		28	—	2,037	85	85	—	全減
ヘロイン	件		—	—	—	—	—	1	全増
	g		—	—	—	—	—	4.20	全増
コカイン	件		—	2	—	6	—	2	全増
	g		—	2,251.50	—	46,192.23	—	14,609.60	全増
MDMA等	件		1	1	1	1	—	—	—
	g		0.34	0.92	22.62	0.54	—	—	—
	錠		—	—	1,933	—	—	—	—
ケタミン	件		2	—	—	1	—	—	—
	g		0.06	—	—	0.00	—	—	—
	錠		—	—	—	—	—	—	—
その他麻薬	件		1	2	2	11	5	58	1160%
	g		—	14.53	9.35	52.98	5.61	409.56	7301%
	錠		28	—	104	85	85	—	全減
向精神薬	件		1	3	4	4	3	—	全減
	g		—	—	—	—	—	—	—
	錠		20	284	729	191	127	—	全減
指定薬物	件		9	5	3	19	12	8	67%
	g		3,795.34	1,976.75	683.18	2,296.14	1,092.91	2,400.16	220%
	錠		—	—	—	—	—	—	—
合 計	件		31	33	18	51	24	76	317%
	g		5,604.40	8,054.17	946.02	51,549.59	4,090.69	17,433.23	426%
	錠		48	284	2,766	276	212	100	47%
参考(使用回数)	回		18,271	104,825	4,971	1,639,753	99,792	487,499	489%
銃砲及び 銃砲部品	件		1	1	3	2	2	—	全減
	丁		1	1	4	1	1	—	全減
	点		—	—	—	1	1	—	全減
銃砲実包	件		—	—	1	—	—	1	全増
	発		—	—	284	—	—	84	全増

- (注)
- 税関が摘発した密輸入事件のほか、警察等他機関が摘発した事件で、税関が当該事件に関与したものを含む。
 - 覚醒剤は、覚醒剤及び覚醒剤原料の合計を示す。
 - 大麻樹脂等は、大麻樹脂のほか、大麻リキッド・大麻菓子等の大麻製品の合計を示す。
 - MDMA等は、MDMA、MDA及びMDEの合計を示す。
 - (参考)使用回数は、以下の不正薬物について、乱用者の通常の一回分使用量をもとに換算し、合計したものである。
(覚醒剤:0.03g、大麻草:0.5g、大麻樹脂:0.1g、ヘロイン:0.01g、コカイン:0.03g、MDMA等及び向精神薬:1錠)
 - 端数処理のため数値が合わないことがある。
 - 数量の表記について、「0」とは微量で重量を鑑定できない場合を示し、「—」とは全く無い場合を示す。
 - 不正薬物の重量(g)については、小数点第3位で四捨五入し計上。
 - 令和5年、6年の数値は速報値である。

(資料2)

不正薬物の密輸形態別摘発件数

(件)

形態別 \ 年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年 (1～6月)	令和6年 (1～6月)
航空機旅客等による密輸入	5	－	1	21	8	13
国際郵便物を利用した密輸入	26	33	16	27	16	62
非公用軍事郵便物	19	28	13	18	10	49
船員等による密輸入	－	－	－	3	－	1
商業貨物を利用した密輸入	－	－	1	－	－	－
合 計	31	33	18	51	24	76

航空機旅客等には航空機乗組員を含み、船員等には船舶旅客を含む。また、商業貨物には、別送品を含む。

(資料3-1)

覚醒剤の密輸形態別摘発実績

(上段:件、中段:g、下段:錠)

形態別 \ 年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年 (1～6月)	令和6年 (1～6月)
航空機旅客等による密輸入	－	－	－	1	1	－
	－	－	－	2989.2	2989.2	－
	－	－	－	－	－	－
国際郵便物を利用した密輸入	1	－	－	－	－	1
	15.94	－	－	－	－	－
	－	－	－	－	－	100
船員等による密輸入	－	－	－	1	－	－
	－	－	－	0	－	－
	－	－	－	－	－	－
商業貨物を利用した密輸入	－	－	－	－	－	－
	－	－	－	－	－	－
	－	－	－	－	－	－
合 計	1	－	－	2	1	1
	15.94	－	－	2989.2	2989.2	－
	－	－	－	－	－	100

航空機旅客等には航空機乗組員を含み、船員等には船舶旅客を含む。

(資料3-2)

覚醒剤の仕出地別摘発実績

(件)

仕出地 \ 年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年 (1～6月)	令和6年 (1～6月)
米国	1	－	－	－	－	1
韓国	－	－	－	1	1	－
中国	－	－	－	1	－	－
合 計	1	0	0	2	1	1

(資料4-1)

大麻の密輸形態別摘発実績

(上段:件、下段:g)

形態別 \ 年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	(1~6月)	令和6年 (1~6月)
航空機旅客等による密輸入	2 5.64	-	1 1.11	4 3.6	3 2.97	4 7.77
国際郵便物を利用した密輸入	14 1,787.08	20 3,810.47	6 229.76	3 14.90	-	2 1.94
船員等による密輸入	-	-	-	-	-	-
商業貨物を利用した密輸入	-	-	1 0	-	-	-
合 計	16 1,792.72	20 3,810.47	8 230.87	7 18.50	3 2.97	6 9.71

航空機旅客等には航空機乗組員を含み、船員等には船舶旅客を含む。また、商業貨物には、別送品を含む。

数量の標記について、「0」とは微量で重量を鑑定できない場合を示し、「-」とは全く無い場合を示す。

(資料4-2)

大麻草の仕出地別摘発実績

(件)

仕出地 \ 年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	(1~6月)	令和6年 (1~6月)
米国	5	2	-	-	-	-
香港	-	-	-	1	1	-
タイ	-	-	-	1	1	1
カナダ	-	1	-	-	-	-
フランス	-	-	1	-	-	-
不明	-	-	-	-	-	1
合 計	5	3	1	2	2	2

(資料4-3)

大麻樹脂の仕出地別摘発実績

(件)

仕出地 \ 年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	(1~6月)	令和6年 (1~6月)
米国	10	16	6	3	-	2
香港	1	-	1	1	1	-
カナダ	-	1	-	-	-	-
台湾	-	-	-	1	-	1
タイ	-	-	-	-	-	1
合 計	11	17	7	5	1	4

大麻樹脂には大麻樹脂、その他の大麻製品を含む。

(資料5-1)

金地金の摘発件数

(上段:件、下段:kg)

年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
				(1～6月)	(1～6月)
摘発件数	-	-	-	3	1
押収量	-	-	-	6.19	0.02

(資料5-2)

金地金の密輸形態別摘発実績

年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
形態別				(1～6月)	(1～6月)
航空機旅客等による密輸入	-	-	-	3	1
船員等による密輸入	-	-	-	-	-
合 計	-	-	-	3	1

航空機旅客等には航空機乗組員を含み、船員等には船舶旅客を含む。

(資料5-3)

金地金の仕出地別摘発実績

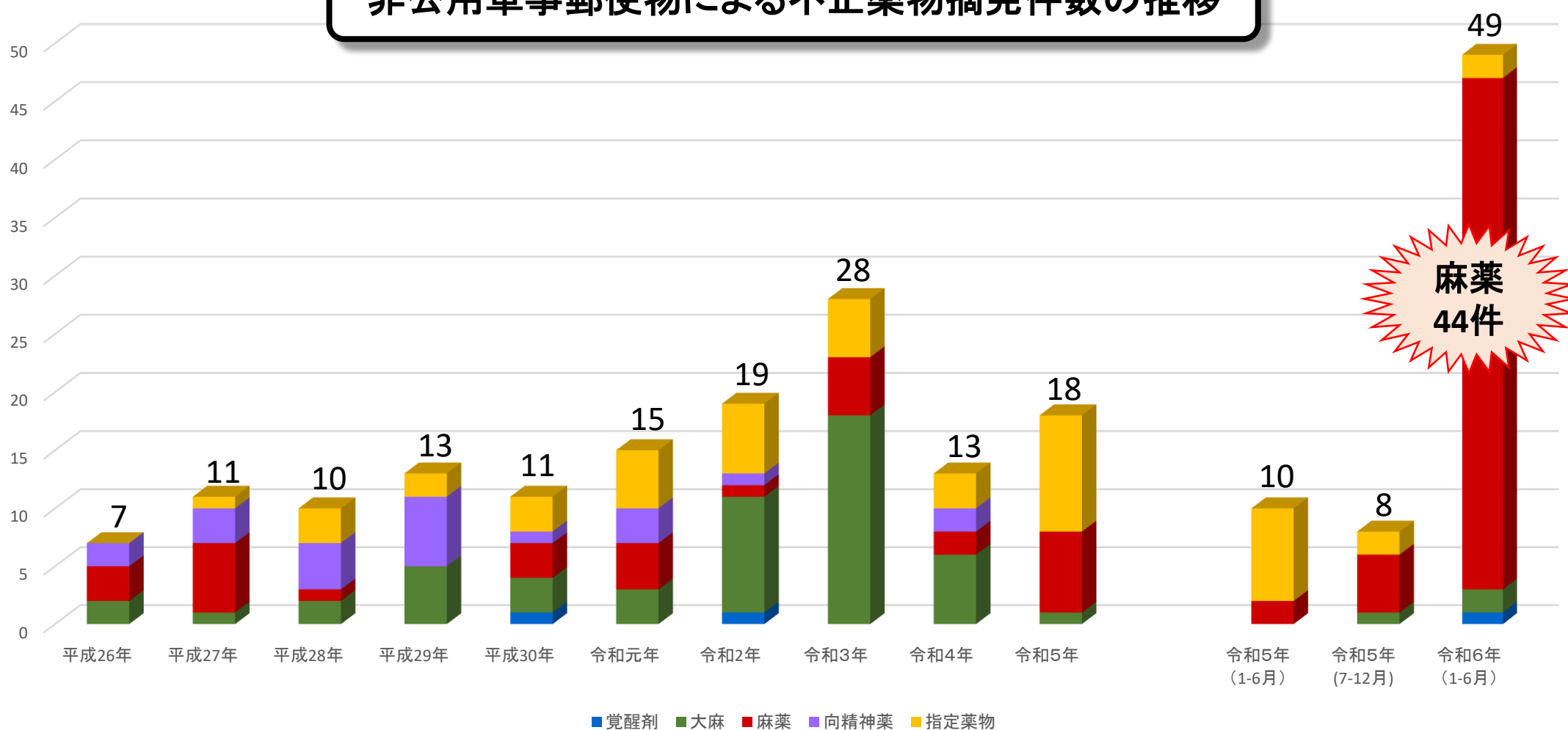
年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
仕出地				(1～6月)	(1～6月)
台湾	-	-	-	2	-
香港	-	-	-	1	1
合 計	-	-	-	3	1

非公用軍事郵便物からの摘発が急増

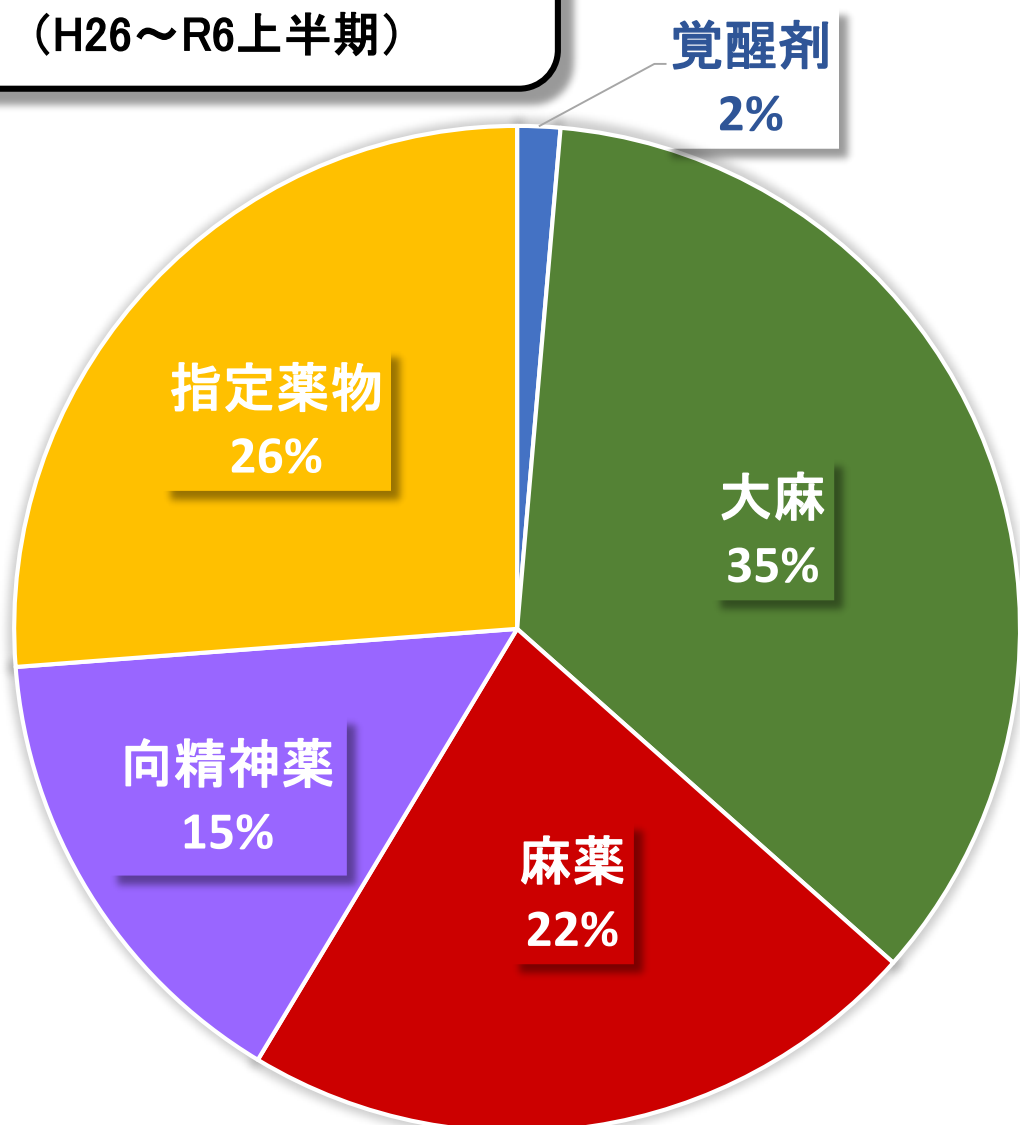
令和6年上半期において、非公用軍事郵便物からの摘発が49件あり、前年同期比4.9倍と急激に増加した。

主な要因としては、同期間中、麻薬である『MDMB-4en-PINACA』（メチル＝3・3-ジメチル-2-[1-(ペンタ-4-エン-1-イル)-1H-インダゾール-3-カルボキサミド]ブタノート）の摘発が相次ぎ、摘発件数が44件（前年同期比44倍）と急増したことによるもので、税関では、これら不正薬物の密輸入に警戒を強めている。

非公用軍事郵便物による不正薬物摘発件数の推移



非公用軍事郵便物による薬物ごとの摘発件数の割合 (H26～R6上半期)



摘発された麻薬である
MDMB-4en-PINACA



漂着していたコカインを発見・押収

【摘発事例】

八重瀬町海岸に漂着していたコカイン 約15キログラムを発見・押収（令和6年1月）



黒色ネットで覆われた漂着物を撮影



漂着物から内容物を取り出している状況



内容物の1塊を解体した状況



内容物に印字されていた刻印の状況



犯則物件公開時の状況

那覇空港にて外国人旅客からヘロインを摘発

【摘発事例】

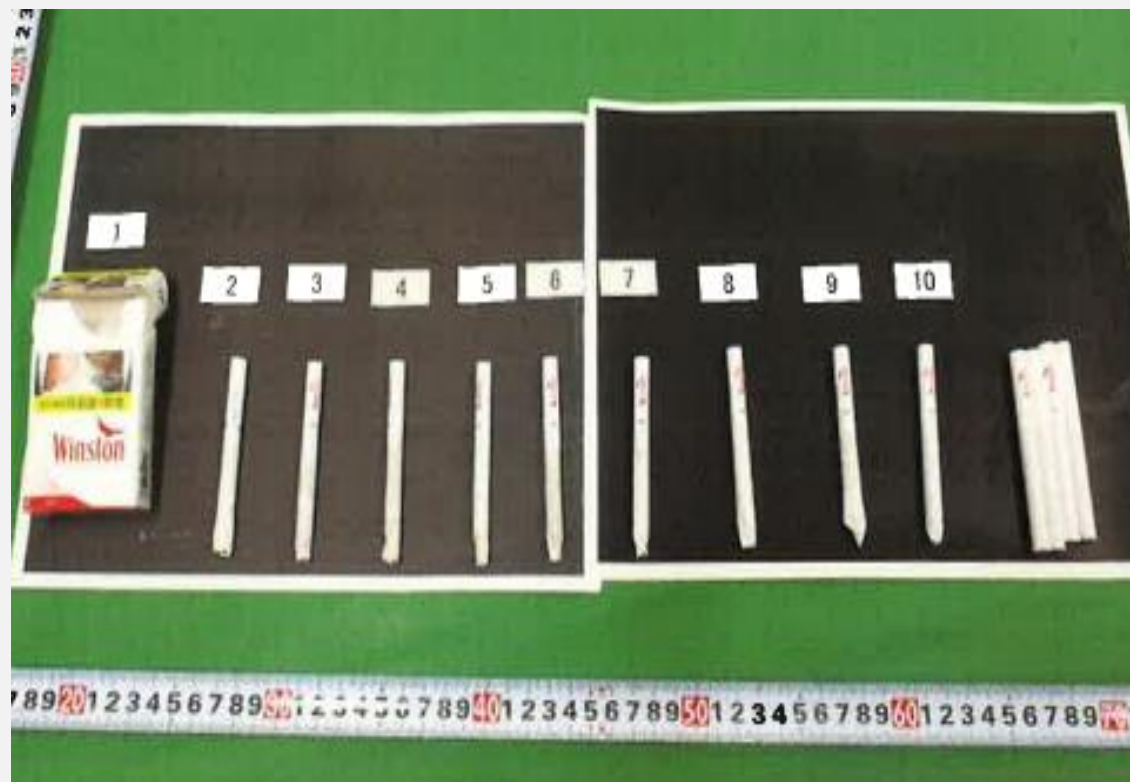
台湾来航空旅客から麻薬であるジアセチルモルヒネ(別名ヘロイン)を含有する
白色粉末入り乾燥植物片 4. 20g を摘発 (令和6年3月・那覇空港税関支署)



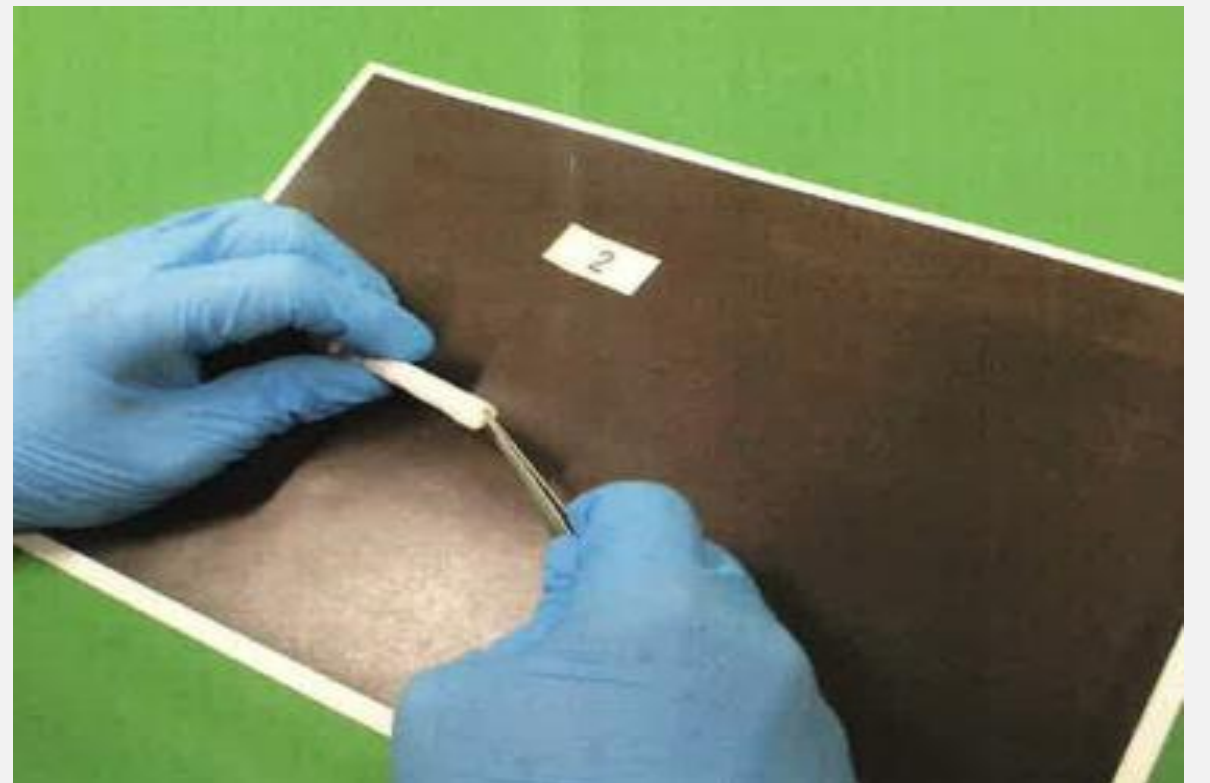
犯則嫌疑者が入国時に携行していたショルダーバッグ



ショルダーバッグから内容物を取り出した状態



内容物である紙箱に収納されていた紙巻たばこ様のものを取出した状態



紙巻たばこ様のものの先端から内部を抜き出している状況



ヘロインを含有する白色粉末入り乾燥植物片